

新型コロナワクチンに関するQ & A

Q1. ワクチン接種はどのような効果があるの？

新型コロナウイルスワクチンは、感染症予防・発症予防・重症化予防の3つの効果があります。

ワクチン接種を受けた人の方が受けていない人よりも新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。(発症予防効果は、約95%と報告されています) ワクチンは、発症を予防し、重症者や死亡者の発症をできる限り減らすことを目的としています。

Q2. ワクチン接種の効果は、どのくらい持続するの？

現時点では、臨床試験や接種が始まってから時間があまり経過していないことから、効果の持続期間については明らかになっていません。今後の情報をお待ちください。

Q3. ワクチン接種は安全なの？

接種後、数日以内に下記の症状が現れる可能性があります。

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1～10%	吐き気、嘔吐

接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いですが、これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。1回目より2回目の方が、現れる頻度が高くなる症状もあります。

まれにですが、接種後、すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射(※)が起こる場合があります。

※血管迷走神経反射・・・ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。通常、横になって休めば自然に回復します。

Q4. アナフィラキシーではどのような症状が出るの？

アナフィラキシーとは、薬や食物が体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です。

じんましんなどの皮膚症状や、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合をアナフィラキシーショックと言います。

接種後に、もし、アナフィラキシーが起こっても、すぐ対応できるように、接種場所では、医薬品等の準備をしています。参考までですが、アナフィラキシーによる死亡例は今まででありません。

Q5. ワクチンを受けた後に熱が出た場合はどうすれば良いの？

ワクチン接種による発熱は、接種後1～2日以内に起こることが多く、必要な場合は、解熱鎮痛剤を服用いただくなどして様子を見て下さい。

接種後2日以上熱が続く場合や症状が重い場合、ワクチンでは起こりにくい症状が出た場合は、医療機関等への受診や相談をご検討ください。

Q6. ワクチン接種はなぜ、2回必要なの？

ファイザー社のワクチンは、1回目の接種の3週間の間隔で2回目の接種を受けることになっています。2回目を接種した方がより免疫がつくからです。3週間を超えた場合、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。2回目の接種の予約がまだお済みでない方は、コールセンター（0120-558-836）までご連絡ください。

Q7. 免疫力は、ワクチン接種以外でも上げられますか？

睡眠時間の確保、運動、禁煙、肥満や低体重を避けること、バランスの良い食事を摂ることなどが感染防御のために有効だと考えられています。しかし、食事の工夫などのみでワクチンのように特定の感染症のリスクを下げることは困難です。

Q8. 持病があるけど、ワクチンは接種できるの？

慢性的な病気がある方もワクチンを接種できる場合が多いです。しかし、病気が悪化している時は避けた方が良く考えられます。かかっている病気によっては、接種を慎重に検討した方が良いでしょう。かかりつけ医に事前にご相談ください。本町では、かかりつけ医等が設備の整った病院で接種が必要と判断した場合には「新型コロナウイルスワクチン接種者の紹介状」を発行します。より安全にワクチンを接種していただけます。

Q9. 薬を飲んでいるけど、ワクチン接種はできるの？

薬を飲んでいるために、ワクチン接種ができないということはありません。しかし、基礎疾患のある方では、免疫不全のある方や病状が重い方など、接種を慎重に検討した方が良いでしょう。かかりつけ医と事前にご相談ください。また、「血液をサラサラにする薬」として処方されている薬の一部では、出血が止まりにくいことがあるので、予診票で薬の種類を確認しています。接種の際には、お薬手帳をご持参ください。

Q10. 接種日はどんな流れでワクチン接種をするの？

集団接種の流れ（予定）をみていきます。

<自宅での準備>

・持ち物

接種券（クーポン）・予診票（記入して持参ください）

お薬手帳（お持ちの方）またはそれに代わるもの

本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）

予約を証明できるもの（申込完了通知はがきまたは申込完了メール）

※忘れ物のないようお願いいたします。取りに帰っていただく場合があります。

・服装：上腕が速やかに露出できる服装

1. 入館前の検温

ふれ愛センター入り口（大阪側）で検温を行います。

※自宅でも検温をお願いいたします。発熱等あれば、当日でも予約キャンセルを行ってください。

2. 受付

必要書類を確認

3. 看護師による聞き取り

4. 医師による体調確認

5. 看護師による接種

上腕の上部に接種を行います。しっかり、袖をまくり上げて接種を行います。

6. 予防接種済証を発行

7. 体調の経過観察（15～30分）

Q11. ワクチン接種後、生活で注意することはありますか？

ワクチンを接種した後は、接種部位の痛みが出たり、倦怠感、発熱、頭痛や関節痛などが生じる場合があります。できるだけ、接種当日・翌日に無理をしないで済むように予定を立ててください。

Q12. ワクチン接種後もマスクは必要なの？

ワクチン接種をした方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだわかっていません。引き続き、感染予防対策を行う必要があります。具体的には、3密（密集・密接・密閉）の回避、マスクの着用、石鹸による手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。